

市民の皆さんに納めていただいた税金がどのように使われているのか、市の財政状況がどのような状況にあるのかをお知らせするため、財政事情を公表します。

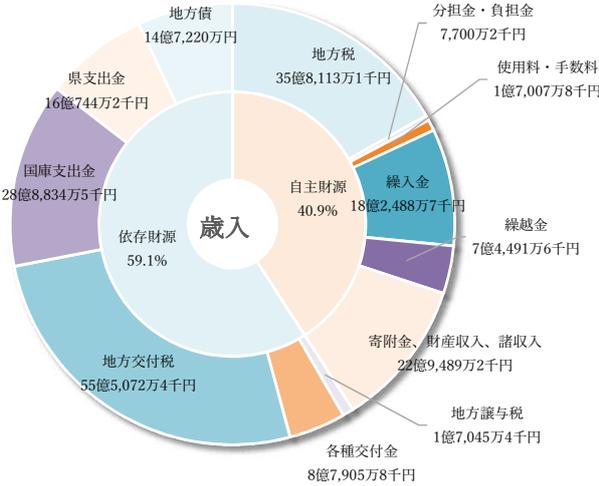
### 令和5年度 決算の状況

一般会計歳入：212億6,112万9千円 対前年度比：6億4,912万3千円増加

#### 【歳入】 寄附金など自主財源が約4割

令和5年度の決算は、前年度と比較して増加しました。自主財源であるふるさと納税指定寄附金が増加したものの、依存財源である普通交付税が増加したことにより、自主財源比率は40.9%（前年度比△1.4ポイント）となりました。

今後は、地方交付税の大幅な伸び等は期待できず、厳しい財政状況が予想されます。自主財源の確保と、歳入に見合った歳出規模を基本とすることが重要になります。



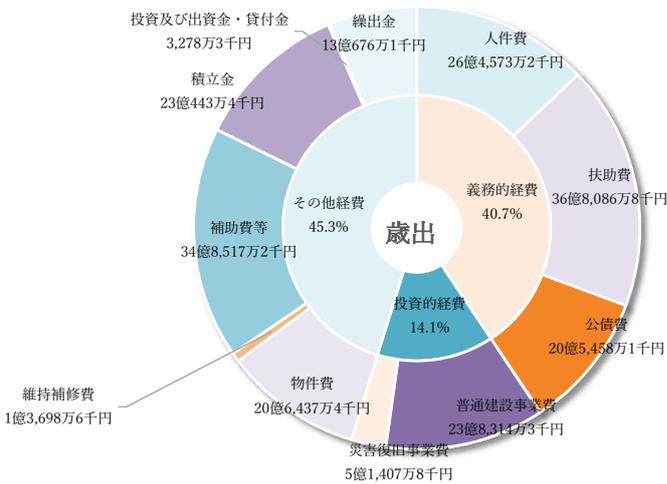
#### 【用語解説】

- 自主財源…市が自主的に調達できる収入
- 依存財源…国、県から交付される財源や地方債のこと
- 地方交付税…全国すべての市町村が等しく行政サービスを提供できるように国から交付されるもの
- 地方債…市が財政上必要とする資金を外部から借入れるもの
- 国庫・県支出金…特定の事業に対する国・県からの補助金など
- 繰入金…これまで積み立てた基金などから繰り入れる財源

一般会計歳出：206億891万2千円 対前年度比：7億4,182万2千円増加

#### 【歳出】 投資的経費、公債費の増加

「投資的経費」が対前年度比19.3%の増加、「公債費」が対前年度比10.6%増加し、全体としては3.7%の増加となりました。公営住宅建替基本計画に基づく公営住宅建替事業などにより、普通建設事業費が前年度比で33.0%増加しました。公債費の増加は、新庁舎建設に伴う地方債の元金償還が開始されたことに伴うものです。今後は道路橋梁や各施設の老朽化対策などにかかる費用の増加が見込まれます。



#### 【用語解説】

- 義務的経費…支出が義務づけられ毎年支出しなくてはならない経費
- 投資的経費…普通建設事業費や災害復旧事業費など社会資本の整備にかかる経費
- 扶助費…社会保障制度の一環として生活困窮者や身体障がい者などにその生活を維持するために支出される経費
- 補助費等…市から他の地方公共団体などに、行政上の目的で交付する経費
- 普通建設事業費…道路、橋梁、学校など公共施設の建設事業にかかる経費

### 特別会計等決算の状況

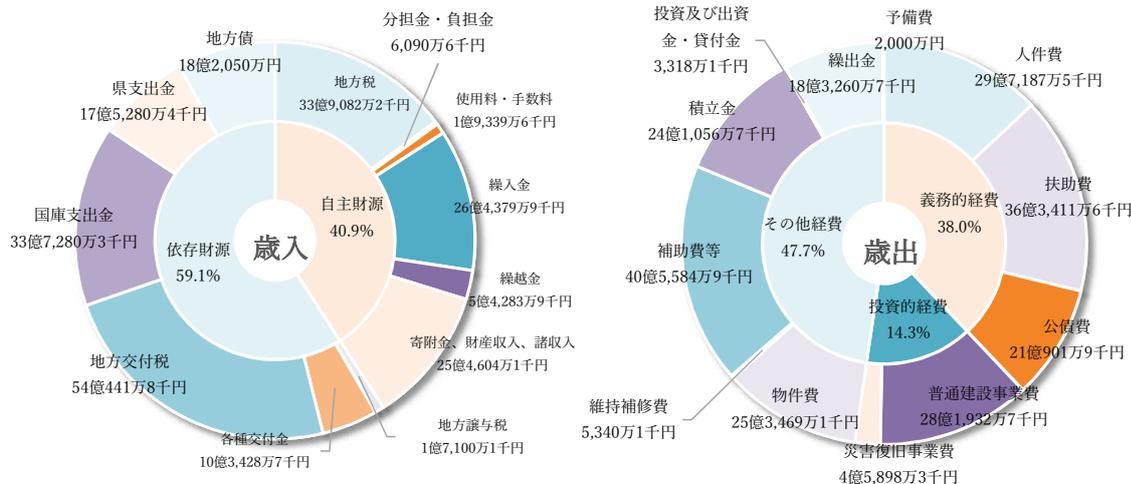
区分	令和5年度決算額	
	歳入	歳出
国民健康保険事業特別会計	38億629万1千円	36億7,921万1千円
国民健康保険診療所特別会計	1億1,014万7千円	1億539万5千円
簡易水道特別会計	741万9千円	717万8千円
後期高齢者医療特別会計	5億5,071万1千円	5億3,664万円

下水道事業会計	令和5年度決算額	
	収入	支出
収益的収支	10億7,659万2千円	9億3,750万4千円
資本的収支	14億4,092万6千円	17億4,123万2千円

特別会計とは、国民健康保険税などの特定の収入で事業の支出が賄われている会計で、令和5年度末現在で4会計あります。  
なお、下水道事業については令和2年度より地方公営企業法の適用を受け、公営企業会計として一般会計等と区別して経理することとなりました。

## 令和6年度 予算の状況 (4月1日から9月30日まで)

一般会計予算総額：229億3,361万6千円



### 令和6年度 一般会計の主な事業

【ハード事業】		【ソフト事業】	
・防災行政無線設備更新事業	4億226万円	・定住促進対策事業	6,410万円
・就学前教育・保育施設整備事業	2億5,636万円	・子ども及び小・中学生、高校生等医療費助成事業	1億5,413万円
・さが園芸888整備支援事業	1億4,468万円	・ごみ収集運搬業務委託事業	1億622万円
・姉団建替事業	10億4,337万円	・私立・管外保育所等運営事業	9億1,812万円
・急傾斜地崩壊防止事業	5,986万円	・障害者自立支援給付事業	8億8,972万円
・過年発生公共土木施設災害復旧事業	4億1,840万円	・企業誘致条例補助金	1億2,535万円
・小学校施設環境改善質の整備事業	2億4,370万円	・学校給食費助成事業	4,522万円
・千代田文化会館改修事業	1億5,171万円	・国民スポーツ大会関連事業	3億8,107万円

### 特別会計等の状況

区分	令和6年度予算額	令和6年度予算額	
		収入	支出
国民健康保険事業特別会計	39億3,619万5千円	10億8,634万8千円	9億6,518万6千円
国民健康保険診療所特別会計	1億2,240万5千円		
簡易水道特別会計	974万円		
後期高齢者医療特別会計	6億2,026万5千円	10億9,504万9千円	14億3,562万7千円

### 基金（貯金）の状況

区分	当初	補正	補正後
一般会計	74億7,845万7千円	6億9,342万8千円	81億7,188万5千円
特別会計	6,995万4千円	1億2,573万5千円	1億9,568万9千円
合計	75億4,841万1千円	8億1,916万3千円	83億6,757万4千円

市民一人あたりの基金残高・・・約28万円

### 地方債（借金）の状況

区分	当初	補正	補正後
一般会計	179億955万円	1億7,060万円	180億8,015万円
特別会計	2億9,097万9千円	-	2億9,097万9千円
合計	182億52万9千円	1億7,060万円	183億7,112万9千円

市民一人あたりの地方債残高・・・約61万円

※地方債残高には、合併特例事業債や過疎対策事業債など地方交付税で後年度財源措置される分が約7割見込まれ、実質的な市の負担は約3割となります。今後も有効かつ効果的な地方債（市債）を活用した財政運営に努めます。

実質的には市民一人あたり 約18万円